

学園祭協賛行事 図書館フォーラム

「図書館フォーラムに参加して」

「絵本の持つ力の素晴らしさ」

キャリア英語科1年次生 近藤絢香さん

発表された2組とも、絵本を子どもたちとのコミュニケーション手段として上手く活用されていたんじゃないかと思いました。測上さんと瀬戸さんは実際にカンボジアに渡り、自分たちで作った絵本を配り、絵本を読む習慣のない子どもたちに非常に喜ばれたそうです。

山本さんは、日本の絵本を使うことによってブラジルから移住してきたポルトガル語しか話せない子どもたちが、日本語を読み、意味を理解できるだけでなく、日本の文化も学べるようにと努力されています。言葉の壁よりも大きな文化の壁を、絵本を足がかりに乗り越えようとしていらっしゃるの非常に印象的でした。

絵本を通じて、私たちと世界の子どもたちが繋がっているということがわかった素晴らしいフォーラムでした。



「本を通じての交流を実感」

大学院博士前期課程 異言語・文化専攻 辻本侑子さん

『絵本を通じての国際交流』ということで、まず頭に思い浮かんだことは「絵本で国際交流？絵本は読んで楽しむものではないのか？どうやって国際交流するのであろう」というものでした。しかし、実際に話しを聞いてみると2組とも絵本を読むだけでなく、字の読めないカンボジアの子どもたちに絵本を贈り届けたり、日本語が話せないブラジルからの生徒に対し、絵本を使って日本の文化を紹介したりと、国内外でたくさんの人々に喜んでもらっていると知りたいへん感動しました。